

表層 測定結果表

測定項目 下がり

測定者 日本太郎



測 点	設 計 値 ①	測 定 値 ②	設 計 値 と の 差 ③=②-①	監 督 員 記 事
NO.2				
h1	100	98	-2	
h2	62	60	-2	
h3	100	97	-3	
NO.2+6.000				
h1	100	97	-3	
h2	62	59	-3	
h3	100	98	-2	
NO.2+10.000				
h1	100	96	-4	
h2	62	58	-4	
h3	100	96	-4	
NO.2+15.000				
h1	100	98	-2	
h2	62	60	-2	
h3	100	98	-2	
NO.3				
h1	100	98	-2	
h2	62	61	-1	
h3	100	99	-1	

記
事

〔基 準〕 設計値 100 仕様書の範囲 上限 下限
 〔測定結果〕 測定数 設計値との差の範囲 ~
 合格判定値との対比 X = 上限 下限 平均値 X =

注) イ. この様式は主として出来形管理の取りまとめに使用するものとするが、品質管理においても指定された場合は、この様式によるものとする。
 ロ. 監督員の検査を受け、請負者の測定値の誤りが発見され、再仕上げを行って測定した場合はその結果を()で記入する。

路床 測定結果表

測定項目 下がり

測定者 日本太郎



測 点	h1			h2			h3			監督員 記 事
	設 計 値	測 定 値	差	設 計 値	測 定 値	差	設 計 値	測 定 値	差	
BP	500	510	10	462	471	9	500	509	9	
BP+1.736	500	509	9	462	471	9	500	511	11	
BP+6.000	500	511	11	462	472	10	500	510	10	
BP+12.00	500	510	10	462	469	7	500	509	9	
BP+17.00	500	510	10	462	470	8	500	510	10	
NO.1	500	511	11	462	473	11	500	512	12	
NO.1+3.000	500	510	10	462	471	9	500	510	10	
NO.1+5.500	500	512	12	462	472	10	500	510	10	
NO.1+14.000	500	513	13	462	473	11	500	512	12	
NO.1+18.000	500	513	13	462	474	12	500	512	12	
NO.2	500	510	10	462	471	9	500	511	11	
NO.2+6.000	500	511	11	462	473	11	500	511	11	
NO.2+10.000	500	511	11	462	470	8	500	510	10	
NO.2+15.000	500	511	11	462	472	10	500	510	10	
NO.3	500	508	8	462	469	7	500	507	7	
NO.3+5.000	500	509	9	462	471	9	500	509	9	
NO.3+10.000	500	509	9	462	470	8	500	508	8	
NO.3+14.000	500	510	10	462	471	9	500	509	9	
NO.3+18.000	500	509	9	462	470	8	500	510	10	
NO.4	500	509	9	462	470	8	500	510	10	

記
事

〔 基 準 〕 仕様書の範囲

上限 下限
40 -40

〔 測定結果 〕 測定数

設計値との差の範囲

~

平均値 X =

注) イ. この様式は主として出来形管理の取りまとめに使用するものとする。

ロ. 監督員の検査を受け、請負者の測定値の誤りが発見され、再仕上げを行って測定した場合はその結果を()
で記入する。

ハ. 差の欄には測定値 - 設計値を記入すること。

下層 測定結果一覧表

種別名 下がり

測定者 日本太郎

㊞

測定位置	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C = B - A	管理基準値 D	摘要
NO.1+3.000 h1	300	309	9		
h2	262	267	5		
h3	300	307	7		
NO.1+5.500 h1	300	306	6		
h2	262	268	6		
h3	300	308	8		
NO.1+14.000 h1	300	304	4		
h2	262	267	5		
h3	300	306	6		
NO.1+18.000 h1	300	307	7		
h2	262	268	6		
h3	300	306	6		
NO.2 h1	300	307	7		
h2	262	268	6		
h3	300	308	8		
NO.2+6.000 h1	300	308	8		
h2	262	269	7		
h3	300	307	7		

高さのでき形測定表

測定者 日本太郎



工種名	表層									監督員記事
	左側			中心			右側			
測点	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	
BP	100	98	-2	62	60	-2	100	97	-3	
BP+1.736	100	98	-2	62	60	-2	100	97	-3	
BP+6.000	100	97	-3	62	60	-2	100	95	-5	
BP+12.00	100	94	-6	62	60	-2	100	98	-2	
BP+17.00	100	97	-3	62	59	-3	100	98	-2	
NO.1	100	97	-3	68	67	-1	100	98	-2	
NO.1+3.000	100	97	-3	62	60	-2	100	98	-2	
NO.1+5.500	100	97	-3	62	59	-3	100	96	-4	
NO.1+14.000	100	99	-1	62	59	-3	100	96	-4	
NO.1+18.000	100	95	-5	62	58	-4	100	96	-4	
NO.2	100	98	-2	62	60	-2	100	97	-3	
NO.2+6.000	100	97	-3	62	59	-3	100	98	-2	
NO.2+10.000	100	96	-4	62	58	-4	100	96	-4	
NO.2+15.000	100	98	-2	62	60	-2	100	98	-2	
NO.3	100	98	-2	62	61	-1	100	99	-1	
NO.3+5.000	100	99	-1	62	60	-2	100	97	-3	
NO.3+10.000	100	98	-2	62	60	-2	100	99	-1	
NO.3+14.000	100	98	-2	62	59	-3	100	98	-2	

(記入要領) 単位はcmとする。

厚さ、幅のでき形測定表

工種名	上層	測定者 日本太郎 印			
測点	位置	設計値	実測値	差	監督員記事
NO.1+14.000	h1	150	153	3	
	h2	112	113	1	
	h3	150	151	1	
NO.1+18.000	h1	150	154	4	
	h2	112	112	0	
	h3	150	150	0	
NO.2	h1	150	155	5	
	h2	112	116	4	
	h3	150	154	4	
NO.2+6.000	h1	150	152	2	
	h2	112	114	2	
	h3	150	154	4	

- (記入要領) 1. 単位は厚さmm 幅cmとする。
 2. 厚さについては位置欄に L、R、ℓ の区別を記入のこと。
 3. 厚さ、幅のいずれかに 印をつけること。

測定結果一覧表

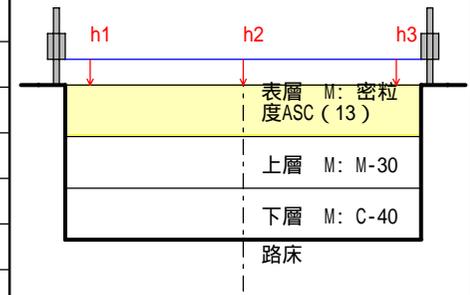
工種 表層

種別

測定者 日本太郎

印

測定項目	h1			h2			h3									略 図
	規格値															
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
BP	100	98	-2	62	60	-2	100	97	-3							
BP+1.736	100	98	-2	62	60	-2	100	97	-3							
BP+6.000	100	97	-3	62	60	-2	100	95	-5							
BP+12.00	100	94	-6	62	60	-2	100	98	-2							
BP+17.00	100	97	-3	62	59	-3	100	98	-2							
NO.1	100	97	-3	68	67	-1	100	98	-2							
NO.1+3.000	100	97	-3	62	60	-2	100	98	-2							
NO.1+5.500	100	97	-3	62	59	-3	100	96	-4							
NO.1+14.000	100	99	-1	62	59	-3	100	96	-4							
NO.1+18.000	100	95	-5	62	58	-4	100	96	-4							
測定項目																
規格値																
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
BP																
BP+1.736																
BP+6.000																
BP+12.00																
BP+17.00																
NO.1																
NO.1+3.000																
NO.1+5.500																
NO.1+14.000																
NO.1+18.000																



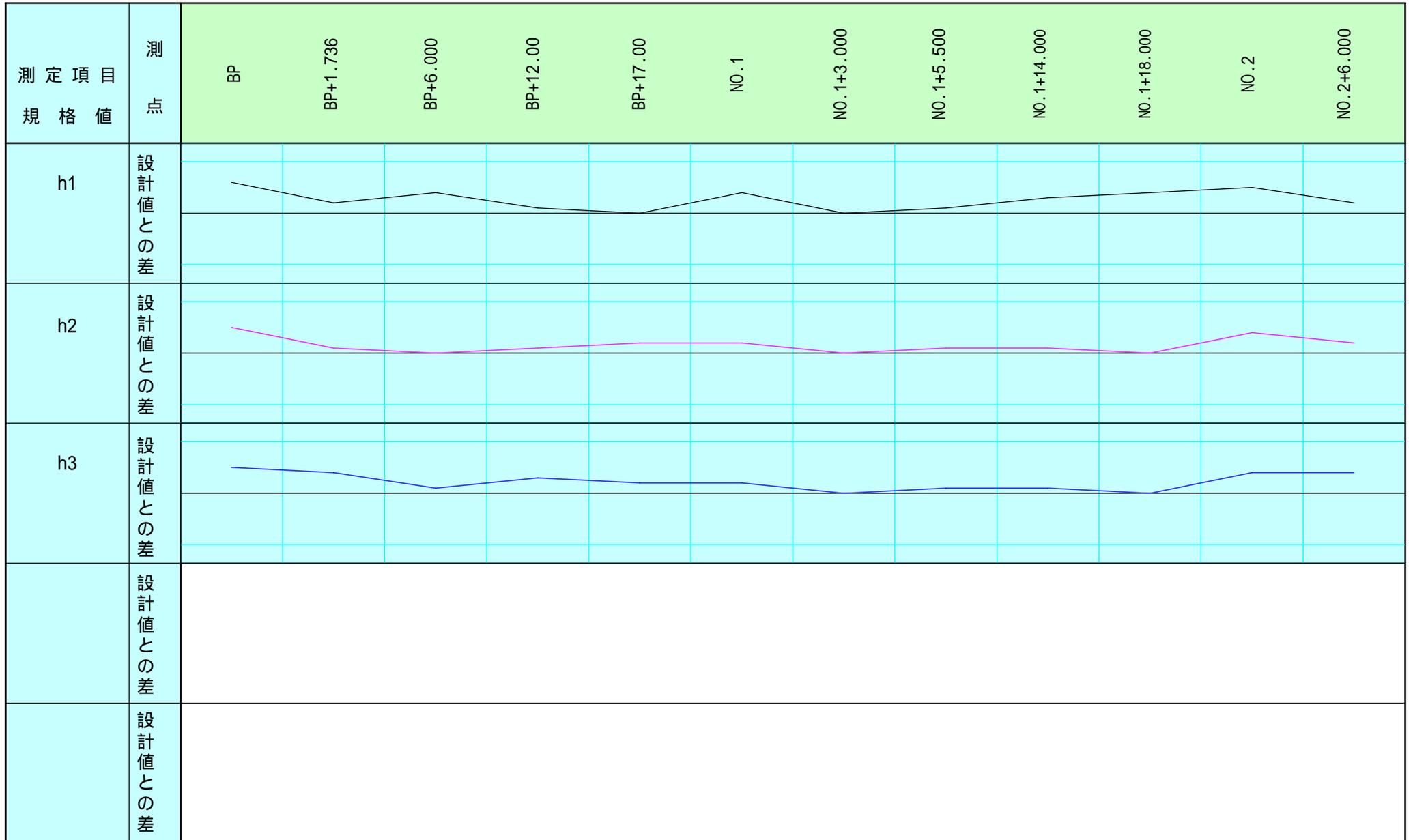
出来形管理図（工程能力図）

工種 上層

種別

測定者 日本太郎

印



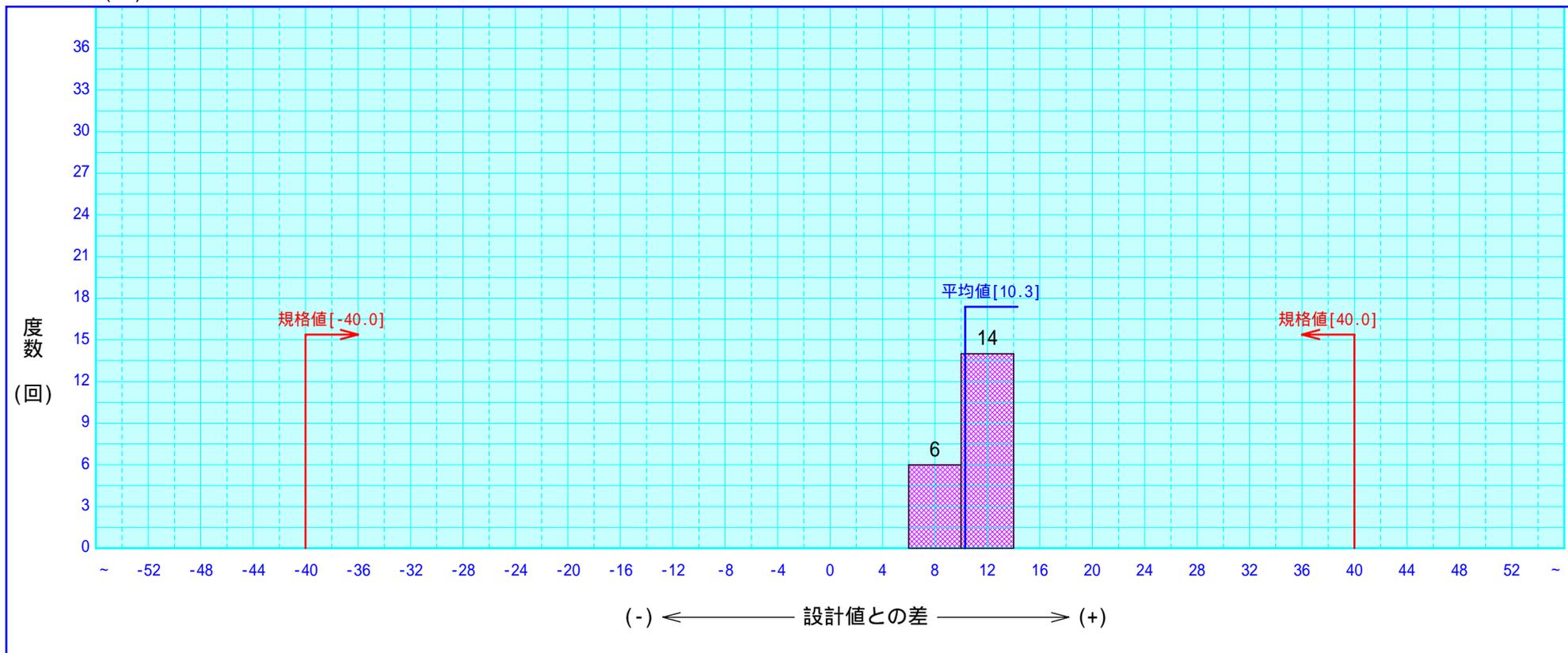
注) 不要な文字は=で消すこと。

路床 度数表

測定者 日本太郎

印

下がり (h1)

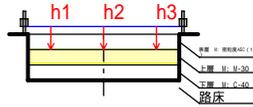


測定結果一覧表

工事名 国道 × 舗装修繕工事
 工種名 上層

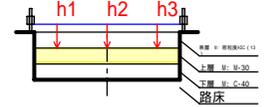
請負会社名 _____
 測定者 日本太郎 印

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h1

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h2

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					E = D - C	F = A - E
		BP	150	156	6	
		BP+1.736	150	152	2	
		BP+6.000	150	154	4	
		BP+12.00	150	151	1	
		BP+17.00	150	150	0	
		NO.1	150	154	4	
		NO.1+3.000	150	150	0	
		NO.1+5.500	150	151	1	
		NO.1+14.000	150	153	3	
		NO.1+18.000	150	154	4	
		NO.2	150	155	5	
		NO.2+6.000	150	152	2	
		NO.2+10.000	150	150	0	
		NO.2+15.000	150	150	0	
		NO.3	150	156	6	
		NO.3+5.000	150	155	5	
		NO.3+10.000	150	153	3	
		NO.3+14.000	150	156	6	
		NO.3+18.000	150	152	2	
		NO.4	150	156	6	

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					E = D - C	F = A - E
		BP	112	117	5	
		BP+1.736	112	113	1	
		BP+6.000	112	112	0	
		BP+12.00	112	113	1	
		BP+17.00	112	114	2	
		NO.1	112	114	2	
		NO.1+3.000	112	112	0	
		NO.1+5.500	112	113	1	
		NO.1+14.000	112	113	1	
		NO.1+18.000	112	112	0	
		NO.2	112	116	4	
		NO.2+6.000	112	114	2	
		NO.2+10.000	112	115	3	
		NO.2+15.000	112	115	3	
		NO.3	112	115	3	
		NO.3+5.000	112	114	2	
		NO.3+10.000	112	113	1	
		NO.3+14.000	112	115	3	
		NO.3+18.000	112	114	2	
		NO.4	112	117	5	

記入要項

- 「工種名」は、掘削（基準高（V））、フルーム（厚さ（T））、橋台（中心線のズレ（e））等と記入する。
- 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測定番号を記入する。
- 「月日」の欄は測定年月日を記入する。

- 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
- 部分については発注者が記入する。

上層 出来形管理図表

工事名 国道 × 舗装修繕工事 請負会社名

工種名 測定者 日本太郎 印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
+	-	+	-	
mm				

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E = D - C	管理基準値との差 F = A - E	設計値との差				
							-10	-5	0	5	+10
9		NO.1+14.00 0 h1	150	153	3						
		h2	112	113	1						
		h3	150	151	1						
10		NO.1+18.00 0 h1	150	154	4						
		h2	112	112	0						
		h3	150	150	0						
11		NO.2 h1	150	155	5						
		h2	112	116	4						
		h3	150	154	4						
12		NO.2+6.000 h1	150	152	2						
		h2	112	114	2						
		h3	150	154	4						
13		NO.2+10.00 0 h1	150	150	0						
		h2	112	115	3						
		h3	150	151	1						
14		NO.2+15.00 0 h1	150	150	0						
		h2	112	115	3						
		h3	150	152	2						
15		NO.3 h1	150	156	6						
		h2	112	115	3						
		h3	150	154	4						
16		NO.3+5.000 h1	150	155	5						
		h2	112	114	2						
		h3	150	150	0						

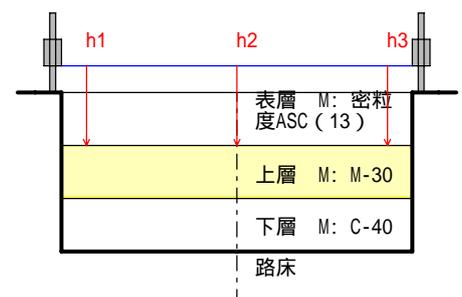
記入事項

1. 「工種名」は、掘削（基準高（V））、ﾌｰﾙ-ｴ（厚さ（T））、橋台工（中心のズレ（e））等と記入する。
2. 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。

h1

h2 h3

測定箇所図



アルバム添付用出来形略図

工事名：国道 × 舗装修繕工事

工種	上層	測点	BP	出来形検測
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		156	117	155
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	112	151
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	153
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	112	150
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	151